

W021

浜松市舘山寺の鶏冠岩（とさかいわ）（静岡県GEO  
DATA(16)：地学散歩(95)）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-11-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 国雄 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026037">https://doi.org/10.14945/00026037</a>

W021 浜松市館山寺の鶏冠岩（とさかいわ）



国土地理院 1：25,000 三ヶ日

静岡県湖西市から浜松市にかけては、主に砂岩・チャート・粘板岩からなる秩父帯が分布している。秩父帯のチャートには様々な色のものがあり、浜松市西区館山寺には鶏冠岩と呼ばれる赤いチャートがある。小高い山(館山)の細い道を西に向かって歩くと、急斜面の下に鶏冠岩が見えてくる。この岩は湖岸から少し離れ、午後の日差しを受けると一層赤く染まり、浜名湖の湖面に鶏冠を置いたかのようなようである。鶏冠岩に近い湖岸には三角点があり、その付近の層状赤色チャートも秩父帯の一般的な走行・傾斜と同様、東北東-西南

西のトレンドをもち、北に急傾斜している。これまでの研究報告によると、館山とその付近のチャートは全体に再結晶化作用のために微化石の保存状態は良くないが、その中から得られた放散虫化石の年代はペルム紀である。一方、館山の北側にある大草山から得られた放散虫化石の年代はジュラ紀である。(加藤国雄)